



南海沿線文化セミナー

『自転車のまち「堺」 ～古墳時代から続く技術が自転車産業発展に貢献?!～』

10月27日(日)開催

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、南海沿線文化セミナー『自転車のまち「堺」～古墳時代から続く技術が自転車産業発展に貢献?!～』を2019年10月27日（日）に開催します。

2008年度から開催している同セミナーは、当社沿線の活性化を目的としたもので、歴史・文化・風習などの紹介を通じて、参加者に沿線の魅力や価値を再認識していただいています。

今回は、自転車産業が堺で発達した要因の一つとして、古墳時代から続く技術が影響していることを自転車博物館サイクルセンター 事務局長の長谷部雅幸氏から説明し、あまり知られていない堺の歴史を紹介します。また、大仙公園内でレトロな自転車をはじめとする変わり種自転車の試乗会を行います（雨天時は中止し、講座を行います）。

この機会に、ぜひ奮ってご参加ください。詳細は以下のとおりです。

<自転車博物館サイクルセンター 事務局長 長谷部雅幸氏 プロフィール>



1951年生まれ。サイクリングを小学校5年生から始め、高校・大学時代も自転車を続ける。1973年に株式会社シマノに入社。国内だけでなく、アメリカ、ヨーロッパをはじめ40カ国を訪問し、マーケティング活動を行った。

現在、公益財団法人シマノ・サイクル開発センター 自転車博物館サイクルセンターの事務局長として、自転車の魅力やサイクリングの楽しさを多くの方に教える活動を行っている。

1. 講演および申し込み方法

(1) 開催日時 2019年10月27日(日) 10:00～12:00

(2) 集合場所 自転車博物館サイクルセンター（大阪府堺市堺区大仙中町18番2号）

(3) テーマおよび内容

◆テーマ：自転車のまち「堺」～古墳時代から続く技術が自転車産業発展に貢献?!～

◆内容：①自転車産業が発達した堺。実は古墳時代からの技術が活かされていたことについて、長谷部氏から説明します。

②大仙公園内で変わり種自転車の試乗会を開催（雨天時は中止し、健康自転車の講座に変更します）。

(4) 募集定員 40人（事前申し込み・先着順）

(5) 参加費 300円（消費税等込） ※自転車博物館サイクルセンター入館料含む

(6) 申し込み方法

◆当社オフィシャルサイトでのみ受付 ※定員になり次第、締め切ります。

【応募期間】2019年9月12日（木）10:00～10月21日（月）24:00

【アドレス】<https://otent-nankai.jp/>

◆参加者への連絡 メールでご連絡します。

2. お客さまのお問い合わせ先

南海テレホンセンター TEL：06-6643-1005（8:30～18:30）

以上